

令和6年度事業報告

公益社団法人鳥取県人権文化センターは、県市町村、企業、市民団体等との連携のもと、真に人権が尊重される社会づくりを推進するため、鳥取県人権施策基本方針に基づいて次の事業を行った。

事業名	1 人権啓発事業	決算額 (人件費を除く)	985,964 円 (昨年度:442,323 円)
	(1)調査研究事業		

1 事業の目的・概要

人権や人権課題についての研究成果、さまざまな人権問題の現状、人権教育・啓発の手法や実践例等について情報を収集し、調査研究することにより、センターが行う事業全体の質と啓発効果を高める。

＜鳥取県人権施策基本方針との対応＞

第2章 人権教育・人権啓発の推進

第6章 共通して取り組む重要施策(ビジネスと人権、デジタル社会における人権)

第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)

2 事業内容・実施の状況

①調査研究

○他団体との意見・情報交換

適切な事業目標設定と事業成果の測定方法について他団体の例に学ぶため、4つの団体を訪問し、情報や意見をいただいた。

期日	訪問先
12/6	公益財団法人人権教育啓発推進センター
12/13	公益財団法人とよなか国際交流協会
12/18	一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター
〃	一般財団法人大阪府人権協会

○他団体の訪問・見学

施設展示等を参考にするため、次の団体を訪問し見学した。

期日	訪問先
6/12	大分市人権啓発センター(ヒューレおおいた)
12/6	東京都人権プラザ

○書籍の購入

次の人権問題等に関する書籍を 28 冊購入し、調査研究に活用した。

エイジズム、性の多様性、合理的配慮、インクルーシブ教育、公正、ダイバーシティ経営、笑い、レイシズム、ジェンダー不平等 等

②効果的な人権啓発手法等の研究開発

県内外において現地又はオンラインにより開催された9つの研修に延べ 24 人の職員が参加し、得た知識等を各種業務に活かした。

期日	研修名	参加形態
10/1～31	第 45 回人権・同和問題企業啓発講座(第1部)	オンライン(録画視聴)
11/1～29	第 45 回人権・同和問題企業啓発講座(第2部)	オンライン(録画視聴)
11/19～20	部落解放研究第 57 回全国集会	兵庫県神戸市
2/4～5	第 39 回人権啓発研究集会	奈良県橿原市
9/25、11/14、1/9	2024 年度部落解放・人権大学講座	オンライン(ライブ聴講)
10/10	2024 年度ワーク・ライフ・バランスセミナー	とりぎん文化会館
12/9	鳥取県 LGBTQ 相談・支援人材育成研修	鳥取県庁
3/4	令和6年度第3回人権問題都民講座	オンライン(ライブ聴講)
3/14	対人援助職のための LGBTQ+ 講座 ベーシック	オンライン(ライブ聴講)

③効果的な事業展開・方向性等の協議

県内外の有識者と意見・情報交換を行い事業の方向性や内容に活かすため、事業アドバイザー会議を開催した。

【期日】 8月 26 日(月)13:50～16:20

【会場】 ふらっと(鳥取県立人権ひろば 21「ふらっと」)交流スペース、及び県民ふれあい会館(鳥取県立生涯学習センター)4階大研修室

【参加】 事業アドバイザー3人、職員7人

【内容】 ・鳥取県人権教育推進協議会との統合問題の結果について(報告)
・センターのミッション達成に向けた現在の事業内容と目標設定の妥当性について、及び目標達成度の計測方法と中長期的目標の設定方法について(協議)

3 事業成果(改善状況)・課題等

※各種研修への参加、また書籍やインターネットによる情報収集を積極的に行い、県内各地で行う研修プログラムや啓発資料の作成、じんけん放話(ホームページに掲載する啓発エッセイ)の執筆等さまざまな業務に活かすことができた。

※事業アドバイザー会議や他団体への聞き取りを通じて、人権啓発事業における目標設定や事業評価についてさまざまな意見や取り組み事例等の情報を得ることができた。

今後は入手した情報を参考にして、センターにとってより適切な方法を模索する。

事業名	1 人権啓発事業	決算額	840,341 円（昨年度:1,579,634 円）
	(2)研修事業		

1 事業の目的・概要

人権や人権問題について県民の理解を高め、人権を尊重し守るために行動する意欲と技能を育む。

＜鳥取県人権施策基本方針との対応＞

第2章 人権教育・人権啓発の推進

第6章 共通して取り組む重要施策(ビジネスと人権、デジタル社会における人権)

第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)

2 事業内容・実施の状況

①人権啓発者養成のための講座の開催

○啓発者のための人権勉強会

県内各地の求めに応じてセンター職員を派遣し、人権啓発者等を対象として専門的知識や啓発技術の向上を目的とした勉強会を開催した。

【開催】全4回 参加延べ人数 45 人

期日	対象	テーマ	参加
5/28	鳥取市人権推進課	ようこそ“ふらっとカフェ”へ！ ーゆるくて深い対話型人権学習の可能性ー	13 人
10/8	鳥取県教育委員会人権教育課	人権尊重のコミュニケーション 4 つの基本姿勢	5 人
11/25	鳥取市人権推進課	人権尊重のコミュニケーション 4 つの基本姿勢	15 人
1/27	鳥取市人権推進課	チャレンジ“ふらっとカフェ” ーあなたも進行役に挑戦してみようー	13 人

【参加者評価※】 4.48 (5段階評価)

※センター独自のアンケートを実施し、研修の満足度と役立ち度をそれぞれ5段階で評価
上記の数値はこれらを合わせ平均した評価。以下、参加者評価については同様

○ふらっとカフェ(自主開催)

参加者同士の対話により人権についての理解を深めるふらっとカフェを、ふらっと交流スペースにおいて自主開催し、ふらっとカフェの普及とファシリテーターの養成に努めた。

【開催】 全6回 参加延べ人数 40 人

期日	テーマ	参加
6/20	長生きはいいことか?	9人
7/3	差別と笑いを考える	5人
7/17	我慢は美德か?	4人
10/10	他人に寄り添うって何?	6人
11/14	「自己肯定感」って何だ?	8人
11/27	「イジっても OK」はどこまで OK か?	8人

【参加者評価】 4.63(5段階評価)

②一般啓発のための各種人権研修への講師派遣

○県内各地の人権研修等にセンターの専任研究員を講師として派遣し、講演、ワークショップ、ふらっとカフェ(対話型人権学習)等の学習スタイルによる研修を提供した。

【派遣回数】 85 回(76 団体) …依頼数 117 回(103 団体)

:お断り数 23 回(23 団体)、キャンセル数9回(4団体)

【参加延べ人数】 4,569 人

【研修手法等】 講演(+演習)71 回、ワークショップ9回、ふらっとカフェ1回
高校人権 LHR(助言)3回、TV収録1回、3ステップ研修0回

【研修テーマ】 上位 5 つ ※カッコ内は各テーマでの講師派遣回数

- ・部落差別(14) ・バイアス(13) ・性の多様性と人権(11)
- ・人権尊重のコミュニケーション(7) ・子どもの人権(6)

【参加者評価】 4.36(5段階評価)…評価取得数 19 団体(センターのアンケート様式を使用)

○既存啓発資料の増刷

予定どおり次の資料を増刷し、各所からの求めに応じて配布を開始した。

啓発資料	増刷部数
子どもの意見を大切にする大人のための 10 の心得 (令和4年度人権学習資料)	800 部
Innovation「部落差別があり続ける社会」を変えるために (令和4年度人権学習教材)	500 部
バイアス、ミナオス? (令和3年度人権学習資料)	500 部

③広く県民を対象とした研修の開催

○人権啓発講座

8月2日に開催された「第 49 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の2つの分散会において、講座を以下のとおり開催した。

	4-1分散会	4-2分散会
会場	伯耆しあわせの郷 大研修室	エースパック未来中心 セミナールーム3
学習手法	講演+グループワーク(演習)	講演+演習
テーマ	笑い与人権、それを巡るリテラシー ー「笑い」に潜む差別性はどう向き合うかー	「部落差別があり続ける社会」を変えるために
講師・進行	センター専任研究員	センター専任研究員
参加人数	48 人	52 人
参加者評価	高評価※が 88.6%	高評価※が 93.6%

※参加者アンケートの4段階評価(大変満足、まあ満足、やや不満、大変不満)のうち、「大変満足」と「まあ満足」の合計が全体に占める割合

○事業 PR 用手提げ紙袋の作成

センターの名前や啓発キャラクター、ホームページの QR コード等を印刷した紙袋を 500 個作成し、講演レジュメや啓発資料等を入れて人権啓発講座の参加者に配布したほか、講師派遣先や関係団体訪問時に資料を入れて提供するなどした。

3 事業成果(改善状況)・課題等

* 人権啓発者養成のための講座の開催

- ・参加者評価が目標(5段階評価の4)を大きく上回った。参加者の人権教育・啓発の現場で研修内容が活かされると期待できる。
- ・開催回数が目標(6回)に達しなかった。次年度は、利用してもらいたい組織を直接勧誘して開催回数を増やす。その際、利用が東部に偏らないよう、中部と西部に積極的に利用を呼び掛ける。

* 一般啓発のための各種人権研修への講師派遣

- ・参加者評価が目標(5段階評価の4)を大きく上回った。研修内容への満足度(4.34)だけでなく、役立ち度(4.39)も評価が高いことから、人権問題に対する理解のみならず、実践力の向上につながったと思われる。
- ・受入れ限度を超える講師派遣依頼が殺到し、23 団体にお断りをした。対応に限界があるなか、事業効果を高めるため、次年度は小地域懇談会等集落単位の研修は派遣対象から外す。また、必要に応じて事務局長が研究員の業務をサポートする。

* 広く県民を対象とした研修の開催

- ・2つの分散会ともに参加者評価の目標(高評価が 86.0%)を超え、特に「大変満足」と評価した参加者が半数を大きく超える結果となった。
- ・県内各地で人権教育・啓発に携わっている人々が多く集まる研究集会において、社会的マジョリティの意識に焦点を当てた部落問題学習のプログラムを紹介したり、笑いという日常的な行為から人権を考えるという新たな学びのアプローチを示せたことは、全県的な啓発手法の向上に向けて意義があった。

事業名	1 人権啓発事業	決算額	425,947 円（昨年度:244,173 円）
	(3)啓発・情報提供事業		
1 事業の目的・概要			
人権や人権問題について県民の理解を高め、人権を尊重し守るために行動する意欲と技能を育む。			
＜鳥取県人権施策基本方針との対応＞			
第2章 人権教育・人権啓発の推進			
第6章 共通して取り組む重要施策(ビジネスと人権、デジタル社会における人権)			
第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)			
2 事業内容・実施の状況			
①機関紙の配付(年2回)			
「とっとり人権情報誌ふらっと」を増刷して会員等に配布し、センターの事業紹介や啓発情報の提供等を行った。			
【増刷数】各 1,100 部(10 月:第 41 号、2 月:第 42 号)			
【配布先】センター役員、団体正会員、団体・個人賛助会員、県内外関係機関等			
②人権啓発パネルの貸出・展示			
令和元年度まで作成した既成パネルを県内各地に無償で貸し出した。			
(米子市人権情報センターのご協力で米子市からも貸出)			
【貸出パネル数】37 組			
【貸出先数】30 団体(人権・同和教育推進協議会、人権センター、教育委員会、公民館、学校等)			
③インターネットを活用した各種情報の発信			
○ホームページ・SNS による情報発信			
・センターとふらっとが共有する新ホームページの運用を本年度より開始し、各種情報を提供した。			
【記事投稿回数】138 回(うちセンター事業 95 回)			
【閲覧回数】81,289 回(R5:60,442 回)…平均 223 回程度/日			

【利用者数】 30,843 人(R5:20,387 人)…平均 85 人程度/日

【ホームページからの問合せ件数】 29 件(うちセンター事業 20 件)

【閲覧回数上位の記事】 ※センター事業のうち閲覧回数の多い順

調査研究エッセイ(寝た子を起こすな論、学校制服、子どもの意見表明権)、
人権啓発パネル(マイクロアグレッション)、講師派遣案内、センターの概要、
人権学習資料・教材の案内ページ

- ・フェイスブックと公式ラインを使い、センターとふらっとの事業に関する記事を投稿した。

【記事投稿回数】 フェイスブック 52 回(うちセンター事業 34 回)

公式ライン 54 回(うちセンター事業 14 回)

- ・ユーチューブに本年度制作した2本の啓発動画を掲載した(3/12)。

○じんけん放話のホームページ掲載

毎月下旬に人権啓発記事「じんけん放話」(1,000 字程度のショートエッセイ)を掲載した。

【タイトル】 人口減少は「女性のせい」？、笑いは「健康」に良い→笑いを「健康」に良いものに、
お客様は神様ではない、79 年目の夏、等

○とっとり県政だよりへの事業 PR 記事の掲載

センターに対する県民の認知と事業利用度を高めるため、とっとり県政だより7月号に事業 PR 記事を掲載した。

○公益財団法人鳥取市人権情報センターの機関誌「架橋」51 号(8月発行)に、センターとふらっとのPR 記事を寄稿した。

④視覚障がいに対応した啓発資料の作成

前年度発行した人権学習資料「職場のハラスメントと人権」の点字版・音声版資料を作成し、県内の図書館等に1部ずつ配布して開架を依頼した。

【作成資料】 点字版、音声版(デージー、カセットテープ)各5セット

【配布先】 鳥取県ライトハウス点字図書館、鳥取市立中央図書館、倉吉市立図書館、
米子市立図書館、ふらっと人権ライブラリー

【配布時期】 6月 27 日

3 事業成果(改善状況)・課題等

* インターネットを活用した各種情報の発信

- ・ホームページのリニューアルを機に、投稿記事数を大幅に増やして積極的な情報提供をしたこと等により、閲覧回数が前年度を 20,000 回以上上回り、目標(80,000 回)を達成した。
- ・フェイスブックの投稿記事数も大幅に増やしたが、主たる目的であるホームページへの誘導があまり成功していない。次年度は、改めて SNS の使用目的や活用方針等について検討する。

* 視覚障がいに対応した啓発資料の作成

センターの点字・音声資料は平成 27 年度から各図書館等に配布しているが、貸出等利用がほとんどない。そこで、鳥取県ライトハウス点字図書館が隔月発行しておられる「声の友」に利用を呼び掛ける PR 記事を入れていただくよう依頼した。次年度5月号に掲載の予定。

事業名	1 人権啓発事業	決算額	21,650 円 (昨年度:2,900 円)
	(4) ネットワーク事業		

1 事業の目的・概要

人権啓発関連団体等と協働・協力し、支援を行うことで、それら団体等の取組にセンターが持つ知見や情報等を活かす。

＜鳥取県人権施策基本方針との対応＞

第2章 人権教育・人権啓発の推進

第6章 共通して取り組む重要施策(ビジネスと人権、デジタル社会における人権)

第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)

2 事業内容・実施の状況

①人権啓発関係団体との協働

○「第 49 回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」(事務局:鳥取県人権教育推進協議会)の各委員会等に参加し、集会開催に尽力した。

【開催時期・会場】8月2日 エースパック未来中心ほか

【各種委員会等】

各会議	開催日
企画運営委員会	4/30、6/6、2/18
基調提案作成委員会	5/10、6/11、6/28
報告者等合同事前研修会	7/5
総括会議	9/11

○「鳥取県人権啓発活動ネットワーク協議会」(事務局:鳥取地方法務局人権擁護課)に参加し、イベント会場で設営作業やセンターのパネル展示を行った。

【協議会】4/22、7/24※、8/30、11/19、2/20

※「みんなの人権フェスティバル 2024」企画運營業務委託プロポーザル審査会

【イベント】「みんなの人権フェスティバル 2024」12月7日 エースパック未来中心

○「ネットモニタリング・ネットワーク」(事務局:鳥取県地域社会振興部人権尊重社会推進局)と協働して、ネット上の差別的書き込みを探すモニタリングを行った。

【作業時間】モニタリング作業時間:43 時間 15 分

【削除要請】0件

②啓発関連イベントへの協力

○部落解放月間の街頭啓発活動に職員が参加し、チラシを配布した。

・7/10 JR 鳥取駅前(人権啓発キャラクター「ふらっちょー」の着ぐるみも参加)

・7/12 JR 倉吉駅前

③県市町村、公民館、学校(PTA)、企業等が実施する人権研修の支援

○県内各地で開催される人権研修等に企画支援(講師情報、研修内容や学習手法の助言等)を行った。

【支援件数】15 件

【支援内容】研修の企画相談、講師の情報提供、資料の情報提供

○センター制作物の二次的利用等に関する県内外からの依頼に対応し、他団体が行う人権啓発事業に各種制作物を役立てた。

【対応件数】5件

3 事業成果(改善状況)・課題等

* イベント協力ではふらっちょーの着ぐるみも出動して場を盛り上げた。

また、研修支援ではセンターの専門性を活かして適切な情報提供とアドバイスをを行うことができた。

事業名

1 人権啓発事業

(5)人権相談事業

決算額

(人件費を除く)

164,055 円 (昨年度:186,213 円)

1 事業の目的・概要

人権に関する悩み・問題を相談者と一緒に考え、解決していく。

複雑・高度な専門性を要する事案等は、専門機関・地元機関と連携して支援する。

＜鳥取県人権施策基本方針との対応＞

第4章 相談支援体制の充実(相談機能の充実)

2 事業内容・実施の状況

○毎週水・土・日曜日に人権相談員1名が面談、電話、メール等で対応した。

【相談件数】 289 件(面接 21 件、電話 268 件、メール及びファックス0件)

【相談内容】 人権相談1件(職場からの解雇について)

一般生活相談 288 件(健康問題、家族問題、隣人トラブル等)

○相談窓口のPRのため、新聞等に広告を掲載した。

とっとり県政だより7月号、日本海新聞(5/3、10/1)、朝日新聞(1/30 無料で掲載)

3 事業成果(改善状況)・課題等

*解決が難しい心の問題などに対応し、日々の心の拠り所としての機能を果たした。

*利用者が固定化している。広く県民に利用してもらうため、今後も継続して窓口のPRを行う必要がある。

事業名	1 人権啓発事業	決算額 (人件費を除く)	2,027,013 円(昨年度:1,315,312 円)									
	(6)鳥取県部落解放研究所継続事業											
1 事業の目的・概要												
人権や人権問題についての県民の理解を高め、人権を尊重し守るために行動する意欲と技能を育む。 ＜鳥取県人権施策基本方針との対応＞ 第2章 人権教育・人権啓発の推進 第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)												
2 事業内容・実施の状況												
①効果的な人権啓発手法等の研究開発												
2つの全国集会・研究会等に延べ2人の職員が参加し、全国の最新の啓発状況とさまざまな人権課題等の現状について情報収集した。												
<table><tr><td>期日</td><td>研修名</td><td>参加形態</td></tr><tr><td>6/13～14</td><td>第 49 回部落解放・人権西日本夏期講座</td><td>大分県別府市</td></tr><tr><td>9/3～30</td><td>第 55 回部落解放・人権夏期講座(高野山)</td><td>オンライン(録画視聴)</td></tr></table>				期日	研修名	参加形態	6/13～14	第 49 回部落解放・人権西日本夏期講座	大分県別府市	9/3～30	第 55 回部落解放・人権夏期講座(高野山)	オンライン(録画視聴)
期日	研修名	参加形態										
6/13～14	第 49 回部落解放・人権西日本夏期講座	大分県別府市										
9/3～30	第 55 回部落解放・人権夏期講座(高野山)	オンライン(録画視聴)										
②各種啓発資料等の作成・配布												
○啓発資料(ポスター)の作成・配布												
【資料名】エイジズム(年齢に基づいたステレオタイプや偏見、差別)												
【仕様・部数】B3判(縦長ポスター) 3種類×700 部 A4縮小判 3種類×1,000 部												
【配布(期日)】B3判…正会員、団体賛助会員、人権センター、県教育委員会、教育局、図書館、 人企連、 商工会議所等 (1/9) A4縮小判…個人賛助会員等(2/12)												
【評価(市町村担当課)】3.62(5段階評価) ※内容と役立ち度についての評価(13 市町村担当課)												
○啓発動画の作成・配布												
【動画タイトル(時間)】												
・HOPE！(ほーぷ)ー地域でともに進める合理的配慮ー(12 分 39 秒) ・それもあなたの「キャリア」になるー職場のハラスメントとの向き合い方ー(7分 30 秒)												
【配布(期日)】ユーチューブ配信(3/12)、CD 配布(県市町村担当課)(3/17) ふらっと交流スペース及び県民ふれあい会館ロビーでリピート上映(2月以降)												
【ユーチューブ再生回数(令和6年度)】2,414 回												
＜内訳＞												
・大人のための 10 の心得～子どもの思いを引き出し受けとめるために～:599 回(累計*651 回) ・バイアス、ミナオス?:1,273 回(累計 1,322 回) ・HOPE！(ほーぷ):168 回 ※累計:令和5年度の掲載時から令和6年度末までの再生回数												

・それもあなたの「キャリア」になる:374 回

3 事業成果(改善状況)・課題等

*効果的な人権啓発手法等の研究開発

さまざまな人権問題に関する最新の情報や知見を知ることができた。今後の研修事業や啓発・情報提供事業等に活用する。

*啓発資料

さまざまな配布先の中から、評価に協力が得られそうな市町村担当課に評価をお願いし、13 市町村から数値評価を頂いたが、もっと良い評価方法がないか再考したい。

また、ポスターの掲示場所がない、カタカナが印象に残らない、プラス表現の方が好ましい等のさまざまな理由から、評価が目標(4.0)に届かなかった。

*啓発動画

令和6年度人権啓発資料法務大臣表彰において映像作品部門の優秀賞を受賞したことなどから、センターが制作した動画に注目が集まり、再生数の伸びにつながったと思われる。

各所の人権研修で利用される事例が多いことがわかったので、次年度は動画を使った研修の資料等を開発し、利用度を高める。

事業名	1 人権啓発事業	総予算	1,874,689 円（昨年度:1,954,264 円）
	(7)受託事業		
1 事業の目的・概要			
「とっとり人権情報誌ふらっと」の作成・発送事業を県より受託することにより、センターの知見や情報を活かした情報発信を行う。			
＜鳥取県人権施策基本方針との対応＞			
第2章 人権教育・人権啓発の推進			
第7章 分野別施策の推進(教育・啓発の推進)			
2 事業内容・実施の状況			
「とっとり人権情報誌ふらっと」の第 41 号と第 42 号を発行し、各所に配布した。			
【発行・配布時期】 10 月…第 41 号「特集:インターネットと人権」			
2 月…第 42 号「特集:災害と情報リテラシー」			
【仕様・部数】 A4判(縦長)8ページ フルカラー 各号 11,800 部			
【配布】 企業、市町村、人権センター、各種学校、社会福祉協議会、図書館、県内関係機関等			
【評価(市町村担当課)】 ※内容と役立ち度についての評価(14 市町村担当課)			
第 41 号:4.00、第 42 号:3.75（いずれも5段階評価）			
3 事業成果(改善状況)・課題等			
＊啓発資料と同様に、市町村担当課に評価をお願いしたが、より良い評価方法がないか検討したい。			
＊本誌の配布を啓発活動のひとつと捉えていたり、広報誌や小地域懇談会、講座等の特集記事を活用したいと考えている市町村が多いことがわかった。また、人権教育推進員や自治会役員から、追加配布の要望や、特集で取り上げたテーマでの講師派遣の依頼もあった。特集記事を中心に、県内各所の啓発に本誌が役立っている。			
＊市町村担当課からは、問題への対処方法をもっと具体的に記してほしいとの要望もあった。限られた紙幅にどう盛り込むか、引き続き工夫する。			

事業名	2 鳥取県立人権ひろば 21 「ふらっと」管理運営事業	決算額 (人件費を除く)	6,289,432 円 (昨年度:6,330,896 円)
-----	--------------------------------	-----------------	-------------------------------

1 事業の目的・概要

人権を尊重する心や態度が広く普及するよう県民が生涯を通じて主体的に人権について学習し、人権に対する理解を深めるための機会を提供し、人権意識の啓発に資する。

＜鳥取県人権施策基本方針との対応＞

第8章 人権施策の推進体制(鳥取県人権文化センター等との連携・協働)

2 事業内容・実施の状況

指定管理者として鳥取県立人権ひろば 21 ふらっとの管理運営を受託し、次の事業を行った。

(受託期間:令和6年度～令和 10 年度)

①人権ライブラリーの管理・運営

【入館者数】 5,679 人

○人権ライブラリーの管理・運営

【貸出資料数】 5,824 点(図書 5,122 冊、DVD702 本)

うち宅配サービスまたは図書館経由によるもの:1,256 点(図書 1,146 冊、DVD110 本)

セレクトパック※によるもの:1,226 点(図書のみ)

※利用者の要望に合わせて職員が選定した図書のセット貸出(10～50 冊程度)

【新規購入数】 173 点(図書 159 冊、DVD14 本)

②交流スペースの管理・運営

○啓発パネル等を展示した。

【実施回数】 14 回

【協力団体】 困り感を抱える子を支援する親の会、鳥取県JICAデスク、鳥取県立鳥取聾学校、アールスペースからふる、鳥取県立琴の浦高等特別支援学校、倉吉地区更生保護女性会、鳥取県立白兎養護学校、認定 NPO 法人十人十色、鳥取県人権尊重社会推進局人権・同和対策課、鳥取アディクション連絡会

○ミニ学習会を人権関連団体と協力して開催した。

【実施回数】 5回 【延べ参加者数】 246 人

【内容と協力団体】

- ・「好き＝描く＝生きる」困り感を抱える子を支援する親の会(4/20)
- ・「世界難民の日 ガザ学習会」難民支援団体ピースバード(6/9)
- ・「私は私でいいじょうぶ～自己受容ってこういうことか！～」
～対話と学びとつながりと～どんぐりの森(10/13)
- ・「アフリカのスラムに学校を作る～子どもたちの笑顔、命の輝き～」鳥取地球人クラブ(11/11)
- ・「『私は憎まない』～平和と人間の尊厳を追求するガザ出身医師の誓い～」
とっとり国際交流連絡会(TIME)、鳥取市9条の会(2/11)

○次の小イベントを自主開催した。

【実施回数】 2回 【延べ参加人数】 74 人

- ・映画上映会「桜色の風が咲く」(9/27)
- ・映画上映会「梅切らぬバカ」(1/23)

○交流スペースを民間団体等に無償で貸し出し、人権に関する勉強会や打合せ等に活用された。

【利用回数】 43 回 【延べ利用者数】 347 人

【利用団体等】 困り感を抱える子を支援する親の会、～対話と学びとつながりと～どんぐりの森、個人、コトモニ、鳥取県人権文化センター、モリタネ会、ガールスカウト鳥取県第一団

③その他施設の管理運営

○インターネット等による情報提供を行った。

※ホームページ

【記事投稿回数】 43 回

【投稿内容】 交流スペース展示、新着図書・DVD、ミニ学習会、映画上映会

【閲覧回数上位の記事】※ふらっと事業のうち閲覧回数の多いもの

カレンダー(休館日、イベント等開催日)、人権ライブラリー利用案内、
図書・DVD 情報、イベント情報、交流スペース利用案内

【ホームページからの問合せ件数】9件

※フェイスブック

【記事投稿回数】18回

【投稿内容】交流スペース展示、ミニ学習会、映画上映会

※公式ライン

【記事投稿回数】40回

【投稿内容】交流スペース展示、新着図書・DVD、ミニ学習会、映画上映会

【登録者数】121人(令和6年度末現在)

※Web ラズダ及び NetNihonkai(日本海新聞)に展示とイベント情報を提供した(それぞれ月1~2回)。

○以下の業務を行い、利用促進に努めた。

- ・ふらっとの紹介チラシや公式ライン登録の募集チラシを新たに作成し、配布した。
- ・昨年度作成したPRグッズを、紹介チラシ等とともにイベント開催時に配布した。
- ・センター専任研究員の講師派遣先や、人権啓発講座の参加者に、PRグッズや紹介チラシ等を配布した。
- ・県教委人権教育課主催の市町村人権教育・啓発担当者会において、DVD 一覧表や地域向け及び企業向け人権研修用DVD紹介チラシを配布した。
- ・県民ふれあい会館にある2か所の常設掲示板を使い、新着図書・DVD の案内やイベント等の開催案内を行った。
- ・県市町村と高等学校の図書館に「ふらっと紹介展示セット」※の案内メールを送り、5か所が利用した。
※ふらっと紹介パネルとバナースタンド及びセレクトパックのセット貸出
- ・児童館向けにセレクトパックの案内チラシを作成し、東部の2館を訪問して利用を勧めた。
- ・日本海新聞「図書館出合いの広場」にふらっとの紹介記事を掲載した(6/11)。
- ・読売新聞に展示に関する記事が2回掲載された(6/29 鳥取聾学校写真部生徒写真展、2/5 十人十色作品展)。
- ・鳥取市人権情報センター機関誌「架橋」51号(8月発刊)にセンターとふらっとの紹介文を寄稿した。
- ・とっとり人権情報誌ふらっと(第41号、第42号)にDVD 情報や利用案内を掲載した。
- ・交流スペースの利用についての留意点をまとめた案内を各机に設置し、利用の向上に努めた。
- ・鳥取県立図書館の「図書館へ行こう！キャンペーン」(10/1~12/1)に参加し、利用促進に努めた。

3 事業成果(改善状況)・課題等

※入館者数と貸出数の大幅増

昨年度比で入館者数は128%、貸出数は130%となり、目標(昨年度数値の1%増)を大幅に超えた。
この背景には、これまでの数々のPR努力が効果を現したことに加え、イベント等の参加者や県民ふれあい会館利用者がふらっとを休憩場所などとして便利に使い始めたこと、またそういった新たな利用者が図書を繰り返し借りるようになったことがあると思われる。

※開架書籍の選定

利用数の増加が著しい図書において、特に利用が多いのはマンガと絵本、子ども対象の解説書等であり、文字数が多く図画の少ない専門書はあまり貸し出しがない。また、法律や分類・呼称などが次々と変わる分野もあり、最新情報に追いつくためどんどん新図書に入れ替える必要がある。限られた書棚のスペースを有効に使い、適切な情報を提供できるよう、引き続き開架図書の選定を工夫する。

※イベント等開催時の収容人数

良い企画をして参加者が増えるほど交流スペースの狭さが問題となってきた。機材を揃えてオンライン参加も可能にしているが、企画によっては現地参加の代わりになりにくい。参加者入替制で複数回開催するなどの工夫をしているが、費用対効果の面からも、参加人数を増やせる方法をさらに検討したい。

事業名	4 理事会・総会の開催	決算額	203,650 円（昨年度:153,872 円）
1 事業の目的・概要 業務の適切な執行及び審議のため、理事会及び総会を開催する。			
2 事業内容・実施の状況			
① 理事会の開催			
○第1回通常理事会 【開催日】5月13日 【会場】県民ふれあい会館 4階大研修室 【議事】(1)令和5年度事業報告について (2)令和5年度決算について (3)令和6年度補正予算(案)について (4)定款の一部変更(案)について (5)役員の選任(案)について (6)令和6年度定時総会の招集(案)について			
○第1回臨時理事会 【開催日】5月29日 【会場】県民ふれあい会館 5階講義室 【議事】(1)会長、副会長、常務理事の選定について			
○第2回臨時理事会 【開催日】7月16日(書面開催) 【議事】(1)臨時総会の招集の決定の件			
○第3回臨時理事会 【開催日】8月19日(書面開催) 【議事】(1)常務理事選定の件			
○第4回臨時理事会 【開催日】9月30日 【会場】県民ふれあい会館 4階大研修室 【議事】(1)令和7年度事業計画(要望案)について (2)令和7年度当初予算(要望案)について 【報告】(1)会長、副会長、常務理事の職務執行状況について (2)令和6年度前期事業報告について (3)鳥取県人権教育推進協議会との統合協議について			
○第2回通常理事会 【開催日】3月17日 【会場】県民ふれあい会館 4階大研修室 【議事】(1)令和7年度事業計画(案)について (2)令和7年度当初予算(案)について (3)令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて (4)令和6年度補正予算(案)について 【報告】(1)会長、副会長、常務理事の職務執行状況について (2)令和7年度市町村支出金承認額について (3)令和5年度決算に係る財政的援助団体等事務監査結果について (4)鳥取県人権機構の解散について			

② 総会の開催

○定時総会

【開催日】5月29日

【会場】県民ふれあい会館 5階講義室

【議事】(1)令和5年度事業報告について
(2)令和5年度決算について
(3)定款の一部変更(案)について
(4)役員の選任(案)について

【報告】(1)令和6年度事業計画について
(2)令和6年度予算について

○第1回臨時総会

【開催日】8月5日(書面開催)

【議事】(1)理事の選任の件

3 事業成果(改善状況)・課題等

*事業説明についての工夫

理事の方々に事業の様子を具体的に知っていただくため、第2回通常理事会の前にふらっとの見学・事業説明と啓発動画の視聴をしていただき、また会後に講師派遣事業の具体的な様子を専任研究員が説明した。

〈事務局組織〉

(令和7年5月現在)

・常務理事(兼事務局長)	1名(常勤)
・次長兼上席専任研究員	1名(常勤)
・専任研究員	3名(専任職員3名 常勤)
・係長	2名(常勤)
・人権相談員	2名(非常勤 水・土・日曜日のローテーション勤務)
・ライブラリー相談員	3名(非常勤 年末年始・祝日以外のローテーション勤務)
.....	
計	12名(常勤7、非常勤5)

〈参考〉指定管理施設である「鳥取県立人権ひろば21」(ふらっと)の職員組織

・館長	1名(常勤 人権文化センター事務局長が兼務)
・次長	1名(常勤 人権文化センター次長が兼務)
・係長	1名(常勤 人権文化センター係長(うち1名)が兼務)
・ライブラリー相談員	3名(非常勤)
.....	
計	6名(常勤(兼務)3名、非常勤3名)